幕を下ろす

伊藤貴晴　作

【登場人物】

少女Ａ 高校三年生

少女Ｂ 高校三年生

少年Ｃ 高校三年生

少女Ｄ 高校二年生

少女Ｅ 高校二年生

少女Ｆ 高校二年生

少年Ｇ 高校二年生

少年Ｈ 高校二年生

少女Ｉ 高校一年生

少女Ｊ 高校一年生

少女ｋ 伝令係

【１】幕が上がる

 舞台の上。無音。緞帳が上がる。

 Ａが緞帳を見ている。

Ａ 幕が上がった

Ａ ここで言う幕っていうのは緞帳のことで、幕が上がったっていうのは演劇が始まったっていうことを表してる。幕が上がるっていう言葉はもっと漠然と何かが始まるっていう比喩で使うことがあるけど、私は日常会話で使ったことはない。緞帳が上がるウイーンっていう音とか、緞帳が動いてる間の止まってる時間が好き。緞帳が動いてるとみんな止まってる。動いちゃいけないわけじゃないんだけど、下りてくる緞帳に挟まれると潰れて死んじゃうから、動いてる緞帳をくぐるなって怒られてる人がたまにいる。緞帳が動いてるときは誰かが潰されないように見張ってる人がいて、他の人も立ち止まって緞帳を見てて、その間は時間が止まってる。『幕が上がる』っていう小説を書いたのは平田オリザ〔※１〕で、高校演劇の話で、映画化もされたんだって。その後、「幕が上がらない」〔※２〕っていう題名の劇をどこかの高校が上演して全国大会に出たっていうことを聞いたことがあるんだけど、それはもう何年前になるのかな。十年ひと昔って言うけど、私にしてみれば三年経てばもう随分昔のことで、私の人生の幕開けは今から十八年前で、二年前の春に私の高校生活の幕が上がって、ついさっき、この舞台の幕が上がった

 Ｂ、登場。

Ａ こんな感じでオープニングの独白をしてると、あ、独白ってこうやって一人で喋ることなんだけど、洋風に言うとモノローグって言うんだけど、別に私、そういうのにそんなに詳しいわけじゃなくて、そういうのっていうのは、演劇用語とかそういうののことで、もちろん私は演劇部員だから、何にも知らないわけじゃないし、知らないと恥ずかしいこともあるけど、だからと言って専門的な知識があるわけじゃないし、同級生にちょっとマニアックな奴がいるっていうだけで、そいつと話してると自然と覚えちゃうっていうだけで、だって私、平田オリザって名前しか知らないし、演劇の全国大会のこととかもよく知らないし、でも演劇やるのは好きで、途中でやめよっかなって思ったこともあるけど、でもやっぱり三年間続けようって思って今日まで続いてる。三年間って言うけど、実際には二年四カ月くらいで、思ったよりも短いって感じだけど、でも私さっき三年は長いみたいなこと言ったなって今思い出して、ちょっと矛盾してるかもしれないけど、ま、そんなことはどうでもよくて、この奇跡、幕が上がったっていう奇跡をちゃんと噛み締めることが大切だと思う

Ｂ 奇跡？

Ａ そう、奇跡。私ね、幕が上がるのって奇跡だと思うんだよね。上演できる奇跡。私達が今、この舞台に立ってて、劇を上演してて、お客さんがここにいて、この出会いは一期一会で。それがやっぱり奇跡だと思うんだよね

Ｂ そんな風に思ってるんだ

Ａ 変かな？

Ｂ 変じゃないけど。いつもと違う気がする。緊張してる？

Ａ 緊張してる

Ｂ 緊張してるとたくさん喋っちゃったりしない？

Ａ する。無言が気まずい感じがして、喋らなくていいのになって思いながら喋り続けて、喋ってるうちにだんだん喋るのが楽しくなって止まらなくなって、喋った後は何喋ったか一切覚えてないんだけど、どうして覚えてないんだろう。変だよね。私、他にも変だなって思うことがあるんだけど、流れ星に願いごとをするって、あれどう考えても変なんだけど。流れ星は宇宙から降ってくるゴミが燃えてるんだって聞いたことがあって、それを聞いたときはがっかりしたけど、よく考えたら本物の隕石がたくさん落ちてきたら家が壊れて人が死んでクレーターだらけになって願いごとするどころじゃないからそれでいいと思うようになった。だから私の将来の夢は空からゴミをばらまいて流星群を作ること。で、この流星群は私が作った流星群だから、いくら願い事をしても叶えてあげないよって世界中の子供達に教えてあげるの。これって結構大事なことだと思うんだよね。だって、流れ星に願いごとをしたって、誰が叶えてくれるの？　流れ星に神様が宿ってるっていう話は聞いたことがないし、星が落ちるっていうのは誰かが死ぬ前兆として語られることの方が多い気がするし、そんな死ぬ瞬間に誰かの願いを叶えてる場合じゃないと思うし、そもそも死ぬときに願いごとされるのって迷惑だよね。流れ星が落ちる間に願いごとを三回唱えるのは不可能だってことは古来議論し尽くされてきたことで、私が思う最短の願いごと「金、金、金」っていうのも、流れ星は見つけた瞬間に落ちてるからやっぱり不可能だと思う。願いごとをするなら神社に行った方がいいよ

Ｂ うん

 Ｃ、登場。

Ｃ ついに俺達の舞台の幕が上がった

Ｂ え、何、格好つけてるの？

Ｃ え、格好つけてないよ

Ｂ え、格好つけてるよ

Ａ 何か、鼻につくね

Ｃ 俺さ、幕が上がるのって奇跡だと思うんだよね。上演できる奇跡。俺達が今、この舞台に立ってて、劇を上演してて、お客さんがここにいて、この出会いは一期一会で。それがやっぱり奇跡だと思うんだよね

Ａ 何言ってるの。恥ずかしい

Ｂ 同じこと言ってたのに

Ｃ そうだよ。さっき同じこと言ってたろ

Ａ お前は聞いてないだろ

Ｃ 聞いてたよ、袖で

Ａ 袖で

Ｃ 台本に書いてあるし

Ｂ 台本って言うな

Ｃ 今こうやってアドリブっぽく喋ってることも全部台本に書いてある

Ａ そういうネタは嫌われるんじゃない？

Ｃ 台本に縛られるな。自由になるんだ

Ｂ 自由をはき違えるな

Ｃ 台本なんか無視しろっていう台詞が台本に書いてあって、それを台本通りに言うことに矛盾を感じる

Ａ 台本通りやれよ

Ｃ いいんだよ、俺の台本だぞ

Ｂ これ、お前の台本なの？

Ｃ 多分

Ａ 多分って何？

Ｃ だってまだ書いてない

Ｂ ちょっと何言ってるか分かんないんだけど

Ｃ 俺も分かんない

Ａ まだ書いてない台本を上演してるってこと？

Ｃ うん

Ｂ そっちの方が矛盾してるんじゃない？

Ｃ だよね

Ａ 話がそれたよ

Ｂ さっきの、もう一回言ってみて

Ｃ どれ？

Ｂ ついに俺達のってやつ

Ｃ ついに俺達の舞台の幕が上がった

Ｂ 何で俺達のって言ったの？

Ｃ だって俺達だろ

Ａ 何か、鼻につくんだよね

Ｂ 自分が中心みたいな

Ｃ 俺が中心で何が悪いんだよ

Ｂ 自己主張強いな

Ｃ じゃあ何て言えばいいの？

Ａ 僕達私達

Ｃ 僕達私達。小学生か

Ｂ 卒業式だね

Ｃ 俺達でいいじゃん

Ｂ 俺達って言うと私達が含まれてないみたい

Ｃ 含んでるよ

Ａ 多数決にしよ

Ｃ 多数決にしたら俺、絶対勝てないじゃん

Ａ じゃあ私達ね

Ｃ 少数意見を尊重しろよ

Ｂ あと、舞台っていう言い方が気に食わない

Ｃ 何で？　舞台だろ

Ｂ 劇でいいじゃん

Ｃ 劇ってダサいじゃん

Ａ 劇って言わないよね

Ｂ でも劇でしょ

Ｃ 劇だけど

Ａ 劇？

Ｃ 劇

Ａ 劇？

Ｃ 劇

Ｂ 劇がゲシュタルト崩壊してくる

Ｃ 劇は嫌だな

Ｂ じゃあ演劇？

Ｃ 演劇って言うと何かよそよそしい感じがする

Ａ 舞台って言うと鼻につく感じがする

Ｂ 芝居って言うと、調子に乗ってる感じがする

三人 分かる

Ｃ 我々は未だに演劇というものを適切に言い表す言葉を持たないのだよ

Ｂ 何、格好つけてるの？

Ｃ つけてないよ

Ａ ドラマ

Ｂ え？

Ａ ドラマがいい

Ｃ あー

Ｂ いいかも

Ａ 私達のドラマの幕が上がる。長いね

Ｃ うん

Ｂ 長い

Ａ 幕が上がる。開演

Ｃ あー

Ｂ いいかも

Ａ せーので言ってみよ

Ｂ せーので言うの？

Ｃ いいよ

Ａ いくよ、せーの

三人 私達の、ドラマ、開演

 全員、登場。歌って踊る。

【２】マツコの知らない世界

 演劇部の部室。

Ｄ 「みなさんこんにちは。私に会えなくて寂しい日々をいかがお過ごしでしょうか。早いもので、私が転勤してもう一カ月が過ぎてしまいました。私は元気です。仕事は順調です。落ち込んだり泣いたりしたけれど、私は元気です。寂しくはありません。でも、皆さんのことを思い出すと、何かしてあげたいという使命感にかられます。約束の台本を送ります。私が書きました。この台本で全国大会を目指して頑張ってください。マツコ」っていう手紙が届いた今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。私は元気です。マツコからの手紙は教頭先生がくれました。お弁当を三時間目に食べてしまって、お腹が空いたので職員室に行って、先生達のお昼ご飯からおいしそうなおかずをつまみ食いしてたら、教頭先生に捕まりました。家で反省文を書きます。手紙と台本は五時間目の間に読んだから他の部員も読んでください

Ｅ っていう手紙を授業中に渡すのはどうかと思うんだけど、それよりも授業中に弁当を食べるのはどうかと思うけど、授業中に台本を読んでる私もどうかと思う。ざっと目を通したから次の人に回します

Ｆ っていう手紙が来たんですけど、六時間目は体育で読んでる場合じゃないので先輩に回します

Ａ っていう手紙が来たよ。私は読んでないけど

Ｂ っていう手紙が来たのをどうしようか

Ｃ 読まずに食べよう

Ｂ ヤギか〔※３〕

Ｄ そうやってマツコから台本が届いたのが五月だったと思うんだけど、ゴールデンウィークが明けてすぐだったと思うんだけど、マツコのこと忘れかけてたんだけど、だけどばかり言ってるんだけど、テンサイは忘れた頃にやってくるって感じなんだけど、ここで言うテンサイがジーニアスなのかカタストロフィなのかサトウダイコンなのかは想像に任せるけど、マツコから台本が届いて、私はちょっと嬉しかった

Ｅ マツコって誰よっていうもっともな疑問が今ここにあって、客席の九割くらいの人がそう思ってるはずで、思ってない人は、寝てるか、ああ、マツコ・デラックス〔※４〕ねって勘違いしてるんじゃないかと思うけど、マツコって名前だからマツコって呼んでるだけで、マツコ・デラックスは関係ないの

Ｆ マツコっていうのは前の顧問で、今年転勤したんだけど、それで結構みんな寂しがってた。マツコってみんなに好かれてるけど、結構嫌われてたりもして、嫌われマツコって呼ばれたりしてたから、あ、昔「嫌われ松子の一生」〔※５〕っていう映画があったらしくて、そこからとったらしいんだけど、私はその映画見たことないんだけど、マツコは結構嫌われてたのかもしれないけど、でもやっぱり好かれてたんじゃないかな

Ｄ じゃあ今からマツコがどうして嫌われてるかって話をします。えっと、まず、口調がいちいち暑苦しいんですよ。『山月記』〔※６〕の李徴みたいな喋り方なんですよ。「その声は、我が友、李徴子ではないか」あ、これは袁傪（えんさん）の台詞なんですけど。でもそんな感じなんですよ

Ｅ それから、こっちが想定してない失敗をするんですよ。ホームセンターで材木買ってくるのに借りた軽トラで事故ったりするんですよ。それから、本番前に残り一個の交換用の電球を割ったりするんですよ。そんな感じで、普通の人ではなかなかできない失敗をするんですよ

Ｆ あとよく泣きます。他の先生に怒られて泣きます。生徒に怒られて泣きます。大会が終わったら感動して泣きます。装置壊すときは寂しくて泣きます。人目をはばからずに泣くから恥ずかしいです

Ｄ マツコが書いた台本は「マツコの知らない世界」〔※７〕っていうタイトルで、タイトルからしてパクリでおもしろそうなんですよ。最初は緞帳が上がるのを見てるっていう場面で、『幕が上がる』っていう平田が書いた小説に対する敬愛と、全国大会で上演された「幕が上がらない」っていう作品に対するアンチテーゼなんだって台本に解説が書いてあるのが鼻につく感じです。っていうか平田オリザを平田って呼ぶのに違和感がすごいです

Ｅ この台本は、マツコが来るのをずっと待ってるんですけど、でも全然来ないっていう不条理劇らしいんですけど、そもそも不条理劇がよく分からないんですけど。不条理劇って分かる？

Ｆ 分からん

Ｅ ベケット〔※８〕のパクリらしいんですけど。ベケットって知ってる？

Ｆ 知らん

Ｅ 本人は実の影響を受けたって言ってたんですけど、実っていうのは別役実〔※９〕のことらしいんですけど、友達でもないのに実って呼ぶなよって感じなんですよ

Ｃ でもベケットはベケットって呼ぶよね

Ｅ そこは食いつくとこじゃないと思いますけど

Ｃ でもサミュエル・ベケットだから、ベケットは名字か

Ｅ 勝手に納得しないでください

Ｃ 野田秀樹〔※10〕は野田で、鴻上尚史〔※11〕は鴻上で、名字で呼ぶことが多いと思うけど、平田オリザは平田オリザで、これはスガシカオ〔※12〕と同じ現象で、スガって言ってもピンと来ないし、シカオって呼び方には違和感があるから、やっぱりスガシカオはスガシカオなんだよって感じで、平田でもないしオリザでもないし、やっぱり平田オリザなんだよね。でも柴さんとかケラさんみたいにさん付けで呼びたい人もいて、あ、柴さんは柴幸男〔※13〕で、ケラさんはケラリーノ・サンドロヴィッチ〔※14〕なんだけど。でも井上ひさし〔※15〕はひさしって感じだから、井上ひさしは特別ってことかな

Ｅ 何を言ってるのかさっぱり分からないんですけど

Ｄ いっそのこと、みんな名前で呼んだらいいんだよ。オリザ君とか、実君とか、サミュエル君とか。どう思う？

Ｆ どうでもいいと思う

Ｅ 誰のことか全然ピンと来ない

Ｄ あ、でもそうすると、マツコはマツオになるのか

Ｆ そうなるのか

Ｉ ちょっと待ってください

Ｊ 何でマツコがマツオになるんですか？

Ｄ だってマツオって名前だから

Ｉ どういうことですか？

Ｊ マツコって名前なんですよね？

Ｅ マツコは名字だよ

Ｉ 名字？

Ｆ マツオが名前

Ｊ 名前？

Ｃ マツコマツオだよ

Ｉ 何ですか、その変な名前。漫才師ですか。今いくよ・くるよ〔※16〕ですか。普通、マツオが名字でマツコが名前じゃないんですか

Ｊ 漫画家みたいじゃないですか。漫画家っていうか藤子不二雄〔※17〕みたいじゃないですか。コンビなんですか。分裂するんですか。マツコ・Ｍ・マツオとマツコ・マツオ・Ａに分かれたりするんですか

Ｃ 松尾スズキ〔※18〕も同じような名前だよな

Ｊ そんなふざけた名前の人はいません

Ｃ 松尾スズキは実在するよ

Ｉ てことはマツコは男なんですか

Ｄ そうだよ

Ｊ イメージが崩れました。マツコっていうから、こんな体の大きな女の人なんだと思ってました

Ｆ 一応言っておくけど、マツコ・デラックスは男だよ

Ｊ そんなの知りません

Ｅ 急に喋りだしたな一年生

Ｉ さっきまで内容がマニアックすぎて会話に参加できなかったんです

Ｊ 私達おいてけぼりですよ

Ｄ おいてけぼりのぼりって何？

Ｆ 知らん

Ｃ で、マツコの台本はどうなの？

Ｄ やばいです

Ｅ やばいです

Ｆ やばいらしいです

Ｄ やってみましょう。最初のシーンは「幕が上がるのを見てる私を見て」。で、次が「踊る私を見て」

Ａ 演劇って無暗に踊ったりするよね

Ｂ どうして踊るんだろうね

Ｆ どうしてでしょうね

Ｄ で、次が「佇む私を見て」

Ｉ 何ですか、それ

Ｄ 佇んでみてください

Ａ おっけい

 Ａは佇む。

Ｂ え、あいつ、動かないし何にも喋らないんだけど

Ｃ え、でもそういう演出なんじゃないの？

Ｂ どういう演出だよ

Ｉ え、これ、何がおもしろいんですか？

Ｊ 演劇ってこういうのなんですか？

Ｆ これは私たちが試されてるんじゃないかな

Ｂ もういいよ、帰ろう

Ｃ 気になるからあとちょっとだけ見たい

Ｉ 帰りましょうよ

Ｊ 全然動かないですよ

Ｆ いつ動くんだろう

 Ａが動く。

Ｂ あ、動いた

Ｃ 動いた

Ｉ 動きました

Ｊ 動きましたね

Ｆ 動いたね

Ｄ 今まで動いてなかったから、ちょっと動くだけですごくドラマチックになるんですよ

Ｅ ナマケモノの観察みたいだな

Ｄ で、次が「私がいない舞台を見て」

Ｊ 何ですかそれは

Ｄ 全員、舞台から下りましょう

 みんな、舞台から下りる。

Ａ え、誰もいないんだけど

Ｂ え、何にも起こらないんだけど

Ｆ 放置プレイかな

 Ｈが舞台を横切る。

Ａ 通った、今、誰か通った

Ｂ 通ったね

Ｉ 今の誰ですか

Ｅ 誰だろうね

 みんな、舞台に上がる。

Ｃ いいね

Ｅ ダメですよ

Ｃ ダメか？

Ｂ あんた、どっちの味方なの？

Ｃ 演劇の考察としておもしろいかもしれない

Ａ 私もちょっと楽しかった

Ｂ 嘘

Ｅ こんな台本は捨てましょう

Ｄ せっかくマツコが書いてくれたのに

Ｅ ダメなものはダメだよ

Ｄ マツコの遺作なんだよ

Ｅ 死んでねえよ

Ｄ 後は、審査員の隣に座って審査員ごっこをして

Ｉ 何ですか、その危険な遊び

Ａ おもしろそう

Ｄ 先輩、客席に行って「台本は会議室で作ってるんじゃない、現場で作ってるんだ」〔※19〕って叫んできてください

Ａ おっけー

Ｂ ダメだよ

Ｃ 続きは？

Ｄ これで終わりです

Ｉ 終わりですか？

Ｄ まだ書けてないんだと思います

Ａ じゃあ続きを待とう

Ｂ 待つの？

Ａ マツコを待とう

Ｃ マツコは来ないよ

Ａ 来るよ

Ｃ マツコは来ない

 Ｋ、登場。

Ｋ あの、次の場面が始まるので退場してください

Ｃ 大会の台本は俺が書く。マツコの台本は使わない。解散

みんな お疲れ様でした

 みんな、退場。Ｄ・Ｇが残る。

 いつの間にか寝ていたＧが起きる。

Ｇ 部活、終わった？

Ｄ うん

Ｇ 俺、すぐ寝ちゃうから、授業が終わった後も、部活が終わった後も、誰も起こしてくれないんだけど。どうして？

Ｄ 寝てるからそれでいいんじゃないの？

Ｇ よくないよ。起きたら誰もいないんだよ。せつないよ

Ｄ 嫌われてるんじゃない？

Ｇ そっか、俺、嫌われてるのか。せつないな

Ｄ 冗談だよ

Ｇ 冗談ってことは、俺、嫌われてないってことか。よかった

Ｄ うん

Ｇ マツコから台本が届いたのが五月だったよな

Ｄ うん

Ｇ で、今、大会の本番中なんだよな

Ｄ うん

Ｇ 結局、台本はどうなったの？

Ｄ え？

Ｇ ってお客さんが思ったりするんじゃない？

Ｄ うん

Ｇ 俺達は登場人物だから分かってるはずなんだけど

Ｄ 分かってないよ。台本は現場で作ってるから

Ｇ 分かってなくていいんだ。よかった、俺だけ台本もらってないのかと思った

Ｄ そういう夢、見たことある。本番中なのに次の台詞が分からないの

Ｇ 恐怖だな

Ｄ ねえ、いっこ聞いていい？

Ｇ 何？

Ｄ 寝る演技って、本当に寝ちゃったりしないの？

Ｇ それは俺にも分からない。気がついたら寝てるから

Ｄ じゃあ起こしてあげなきゃいけないね

Ｇ そうだよ

 Ｄ・Ｇ、退場。

【３】幕の種類

 Ａ・Ｂ・Ｃ、登場。

Ｃ 幕にもいろいろあって、袖にあるのが袖幕。閉め切れるのが中割幕。引割幕とも言う。舞台の後ろにあるのが大黒幕とホリゾント幕。大黒幕は黒くて、ホリゾント幕は白い。上にあるのが一文字幕。霞幕（かすみまく）とも言う。前にあるのが緞帳。暗転幕。透けるのが紗幕（しゃまく）。昔は多分、幕は左右に開いたり閉じたりするものだったはずで、開幕とか幕引きとかそういう言葉があって、幕が上がったり下がったりするのは現代になってからなんじゃないかな。能舞台に幕はないし、歌舞伎は定式幕（じょうしきまく）っていう緑と赤と黒のあの幕だし、小劇場に緞帳はないし、だったら高校演劇だって緞帳使わなくたっていいじゃないかって思ったりするけど、幕が上がらない劇も幕が下がらない劇も世の中にはあるらしいから、じゃあ改めてここでやらなくてもいいんじゃないかって俺は思うわけよ

Ｂ うん

Ｃ だから俺がやりたいのは、幕が上がってから下りるまでのリアルタイムの六十分なわけよ

Ｂ うん

Ｃ でもこれには問題があって、その問題っていうのは、台本が用意できないってことなんだよね。だって、台本があるってことは事前に準備されてるってことで、今この瞬間にすべてを生み出してるわけじゃないし、かと言って、今この瞬間にすべてを生み出すってことは、全部エチュードで、やっぱり台本はないってことだし、どっちにしても台本がないってことなんだよね

Ｂ うん

Ｃ だとすると、俺が書いた台本はどこに行っちゃったんだろう

Ｂ さあ？

Ａ 話は終わった？

Ｂ 何してんの？

Ａ マツコを待ってるの

Ｃ マツコは来ないよ

Ａ マツコの台本の続き読みたい

Ｃ 「マツコの知らない世界」？

Ｂ マツコが書いてるのに「マツコの知らない世界」って矛盾してるよね

Ｃ 書いてない台本を上演するより矛盾してないと思う

Ａ 台本書けた？

Ｃ 書いたけど捨てた

Ｂ 捨てたの？

Ｃ しっくりこないから

Ｂ 芸術家みたいなこと言ってる

Ｃ 半端なものは出したくない。君が演じるんだから

Ｂ 気持ち悪い

Ｃ え？

Ａ いちいち鼻につく言い方するよね

Ｂ 君って何？

Ｃ 君は君だろ

Ｂ 君は嫌だ

Ｃ あなた

Ｂ よそよそしい

Ｃ お前

Ｂ なれなれしい

Ｃ おぬし

Ｂ 何時代だよ

Ｃ ユー

Ｂ あー、一番ましかもしれない

Ａ 日本語ってしっくりこないよね

Ｃ ユーは女優

Ｂ ギャグ？

Ｃ 違うよ

Ｂ 女優って言い方やめてよ

Ｃ 女優だろ

Ｂ 女優じゃないよ

Ｃ よっ、女優

Ｂ やめてよ

Ｃ 名女優、大女優、アカデミー主演女優

Ｂ やめてってば

Ａ 女優じゃないの？

Ｂ 女優とか俳優とかよそよそしい感じ

Ｃ 女優じゃなかったら何？

Ａ 役者？

Ｂ 役者は調子に乗ってる感じ

Ａ キャスト？

Ｂ キャストは配役って意味合いがあるからニュアンスが違う

Ａ 英語なのにしっくりこない

Ｃ じゃあ何？

Ｂ 何だろう？

Ａ マツコは来ないの？

Ｃ 来ないよ。ラッコの毛皮も来ないよ〔※20〕

Ｂ 何それ？

Ｃ 『銀河鉄道の夜』だよ。知ってる？

Ｂ 宮沢賢治でしょ。それは知ってる

Ａ 『幕が上がる』でやってた。ジョバンニとカムパネルラでしょ

Ｂ 誰がジョバンニ？

 Ｂを指す。

Ｂ カムパネルラは？

 Ａを指す。

Ｃ 俺は？

Ａ 牛乳屋さん

Ｃ 嫌だ

Ａ じゃあザネリ

Ｃ いじめっこだ

Ｂ いじめっこだな

Ｃ 映画『幕が上がる』は、ももいろクローバーＺが主演で話題になりましたが、さあ、この二人は一体どんな演技を見せてくれるのでしょうか

Ｂ むかつくわ

Ａ むかつく

Ｃ 女優の名演技に期待が高まります

Ｂ うるさい

Ａ お前が川で溺れても絶対助けてやらない

Ｃ お前って言うなよ。なれなれしいな

Ｂ 君が川で溺れたら確実に沈めてあげる

Ｃ よし、お客さんが何人いるか数えてみよう

Ａ 話聞けよ

 Ｋ、登場。

Ｋ あの、次の場面が始まるので退場してください

Ｃ ダメだよ、今、お客さんの数を数えてるから

Ｋ 退場してください

Ｂ 行くよ

Ｃ はーい

 Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｋ、退場。

【４】マツコのいらない世界

 演劇部の部室。

 Ｄ・Ｅ・Ｆ・Ｇ・Ｉ・Ｊ、登場。

Ｅ 今回の台本のコンセプトは、大会の六十分をリアルタイムに上演するってことなわけよ。普通、物語って、その時じゃない、いつかのことを物語るものであって、今この瞬間を物語にするって本当は不可能なの。私達は不可能に挑戦しようとしてるの。分かる？

Ｄ 分からん

Ｆ 分からん

Ｇ 不可能って言ったけど本当は不可能じゃなくて、全部エチュードの劇だったら可能だし、でも今回は台本があるから、台本を上演するっていう未来の想定があって、その過去から見た未来が今で、台本を上演しててもあくまでリアルタイムってことなんだよ。分かる？

Ｄ 分からん

Ｆ 分からん

Ｅ 何で分かんないの？　バカなの？

Ｆ バカにされた

Ｄ 学年最下位なめんなよ

Ｅ いばるなよ

Ｄ 学年一位のくせに人の気持ちも分からんのか

Ｅ 分からん

Ｆ 私、最下位じゃないのに

Ｄ 何かおかしいよね。台本があるってことはフィクションってことでしょ。未来日記的に私達の行動が台本によって決められてるとして、でも何度も稽古した内容を初めて起こったこととしてとらえるのは無理があると思うんだけど

Ｇ そんなこと言ったら演劇自体成り立たなくなるんじゃないの？

Ｄ そうなの？

Ｆ 知らん

Ｅ 自分がマツコの台本やりたいって言ったんでしょ。文句言うなよ

Ｄ 文句じゃないよ。納得できないだけだよ

Ｅ 面倒臭いな、こいつ

Ｆ 納得しないと動けないんだよ

Ｄ 今、本番中で、こうやって上演してるんだけど、でもこの劇は一カ月以上前から稽古してて、その時はいつか来る本番のために稽古してるんだって思ってて、実際その時が来て、ああ、こんな感じなんだって思いながら台本通りに台詞を喋ってて、台本通り台詞を喋ってるのに、それがリアルタイムだって言われてもピンと来ないんだけど。そもそも、この台本、変だよ。これ、上演中なの？　本番始まったのに始まってないみたいな。本番始まったのに「幕が上がった」とか、のほほんと感想言ってるの、おかしいよね。本番始まってるんだから。本番始まってるのに劇やってないってどういうこと？

Ｆ 知らん

Ｅ お前、知らんばっかりだな

Ｆ だって分かんないんだもん

Ｇ だからそういう劇なんだって

Ｄ そういう劇ってどういう劇？　分かる？

Ｉ 分かります

Ｊ 分かります

Ｆ え、分かるの？

Ｉ そういう劇っていうのは、どんな台本にするか話し合ってるっていう内容の劇とかですよね

Ｊ 映画を撮るっていう内容の映画とか、ネタがないネタがないって言ってるのがネタになってる漫才とかですよね

Ｇ そうそう

Ｆ 一年生が分かってるのに、二年生の私が分かってないのってまずいよね

Ｅ まずいね

Ｄ 私も分かってないよ

Ｆ こいつと同類か

Ｉ 私、分からないことがあるんですけど

Ｊ 私もあります

Ｄ この子達も分からないんだって

Ｅ お前らより断然分かってるよ

Ｄ ぐうの音も出ない

Ｆ ぐう

Ｉ 話していいですか？

Ｄ 話すことに許可なんかいらないよ。人間は自由なんだから、話したいときに話せばいいんだよ

Ｅ うるさい、黙れ

Ｄ 人権が侵害された

Ｅ で、何？

Ｉ 上演と台本はどっちが先なんですか？

Ｄ もう一回言って

Ｉ 上演と台本はどっちが先なんですか？

Ｄ え、何、怖い話？

Ｆ 違うと思うよ

Ｉ この劇って台本作る話だと思うんですけど、劇の中で台本作るっていう二重構造になってて、で、出来上がった台本を今、私達が上演してて、そうやって循環してて、そうすると、上演と台本のどっちが先なのか分からなくなりませんか。これは実際の台本の話じゃなくて、あくまでお話の中の設定のことなんですけど、設定上は本番の時間にエチュードをやってるみたいなそんな感じで、そうすると台本が出来上がるのは本番が終わった後ってことになって、本番を上演するための台本なのに、本番が終わらないと出来上がらないっていう矛盾です

Ｄ ほら怖い話じゃん

Ｆ 違うと思うよ

Ｇ 鶏が先か卵が先かって話でしょ

Ｅ そう

Ｄ どっちを先に食べるかってこと？

Ｅ そんな話はしてない

Ｊ 私は循環じゃなくて入れ子構造なんだと思うんですけど

Ｄ もう一回言って

Ｊ 私は循環じゃなくて入れ子構造なんだと思うんですけど

Ｄ 怖い話？

Ｊ はい

Ｄ マジで？

Ｊ 劇の中で台本を作ってる。これが二重構造です。で、その台本の中でも別の台本を作ってる。これが入れ子構造です

Ｇ マトリョーシカみたいなやつでしょ

Ｊ 台本の中で台本作ってて、その台本の中でも台本作ってて、さらにその台本の中でも台本作ってて、そんな感じで台本作る話が無限増殖してるんじゃないかと思うんです。台本が無限増殖するってことは、私達自身も無限増殖してるってことで、私達の存在が無限に増え続けてるんです

Ｄ 何それ、おもしろい

Ｆ 増殖した私達はどこにいるの？

Ｊ パラレルワールドって言ったらいいんですかね。ある世界と別の世界が相互に干渉することはないので、実は無限増殖しても特に問題はないんですけど、問題があるとしたら、私達はどの世界にいるのかってことで、ある世界から生み出された下の世界なのか、それとも大元の一番上の世界なのか。一番上の世界だとすると、問題は、この世界の台本は一体誰が書いたのかってことです。理論上、私達は誰も書いてないはずの台本を上演してます。そういうことができるのは、世界を作った存在、神様です

Ｄ えっと、これは怖い話ってことでいいのかな？

Ｆ いいと思う

Ｅ オカルトだな

Ｆ 私達は神様が書いた台本を上演している

Ｄ マツコの台本はどこ行ったの？

Ｅ 知らん

 Ｋ、登場。

Ｋ あの、次の場面が始まるので退場してください

みんな はーい

 みんな、退場。Ｇは寝ているので残る。

【５】幕を下ろせない

 舞台の上。

 音楽。

 Ａ・Ｂ、登場。寝ているＧを見つける。

Ａ 寝てるよ

Ｂ 寝てるね

Ａ どうしよう

Ｂ ちょっと音楽止めて

 音楽、止まる。

Ａ どうするの？

Ｂ ねえ、ねえ

Ａ 起こすんだ

Ｇ あれ？　みんなは？

Ｂ 退場したよ

Ｇ また誰も起こしてくれなかった。せつない

Ａ かわいそう

Ｂ かわいそう

Ｇ ですよね。俺、かわいそうですよね

 間。

Ｂ 退場しないの？

Ｇ いやあ、もういいかなって

Ｂ いや、よくないんだけど。もう次の場面だから

Ｇ そうなんですか？　じゃあ、名残惜しいですけど

 Ｇ、退場。

Ａ 音楽かけて

 音楽。

Ａ 神社に行くときは目立つ格好で行けっていうのを誰かに教わった気がするんだけど、誰に聞いたのか思い出せない。神様はたくさんの人の願いごとを叶えてあげなきゃいけないから、地味な格好だと見逃されるかもしれないんだって。だから私、神社に行くときは赤い服とかホットピンクのズボンとかとにかく目立つ服を着るようにしてる。でも人もたくさんいるけど、神様だって八百万いるんだから、見逃さないようにちゃんとみんなの願いを叶えてあげてほしい。でも願いを叶えてっていうのはそもそもこっちの勝手な願いで、そういう他力本願なのはどうかと思うし、神様だって願いを叶える義理も義務もないかもしれないから、みんなの願いを叶えてあげてなんて大層なことは言わずに、こっそり私の願いごとだけ叶えてくれたらいいんじゃないかな。子供の頃はサンタクロースを信じてたけど、そういうのは嘘だって気づいたのはいつだったんだろう。サンタクロースもツチノコも河童もいないし、赤ちゃんはコウノトリが運んでこないしキャベツ畑で生まれないし、天国も地獄もないし死んでもお星さまになったりしない。夜に見えるあの星は燃えてるだけで、その光が見えるだけ。こういうのをリアリストって言うのかペシミストって言うのかは個人の判断によるけど、私はどちらとも思わない。かといってロマンチストやオプティミストになれるとも思わない。ちなみにペシミストっていうのは悲観論者、オプティミストっていうのは楽天家っていう意味で、そういう最近覚えた言葉を使ってみたいっていう虚栄心だけで喋ってみると、アイロニカルなロジックでポスト構造主義を批判してみても、ペルソナとメタファーで玉虫色になった自分を見つけることはできないし、トートロジーのイデオロギーでイノベーションなんか起きるはずもないから、人はやっぱり輪廻（りんね）しながら解脱（げだつ）とか涅槃（ねはん）を目指すべきだと思う

Ｂ 舞台の上で黙って座ってるって贅沢な時間だね

Ａ 舞台の上でべらべら喋り続けるのも贅沢だよ

Ｂ 沈黙は金

Ａ 雄弁は銀

Ｂ でも、舞台の上で黙ってるのは罪深いね

Ａ そう思うなら喋ったらいいじゃない

Ｂ 何を喋ったらいいの？

Ａ 何でも思ったことを

Ｂ 誰に喋ったらいいの？

Ａ 私に

Ｂ 君に？　あなたに？　お前に？

Ａ そう

Ｂ しっくりくる二人称ってないんだね

 音楽。

Ｂ 音楽が聞こえる

Ａ 本当だ

Ｂ 私は音楽を聞きながらここに立ってる

Ａ 私はその隣に立ってる

Ｂ 耳をすまして、音楽を聞いてる

Ａ いい曲

Ｂ 音楽ってよそよそしいよね

Ａ どういうこと？

Ｂ 二人称と同じ

Ａ ああ、言い方の問題ね

Ｂ 私の大切な物は、よそよそしい。そよ風みたいに遠慮がち

Ａ 詩人だね

Ｂ 舞台で風は吹かない。でも想像はできる

Ａ うん。風が吹いてる

Ｂ 靴を脱ぐ

Ａ 何で？

Ｂ 靴下も脱ぐ

Ａ 何で？

 Ｂは靴と靴下を脱ぎ、臭いを嗅ぐ。

Ｂ 臭い

Ａ そりゃそうだ

Ｂ 裸足になるのは、例えばここが海だったら

Ａ 海

Ｂ 砂浜で、砂がさらさらで、ひんやりして、波の音が聞こえて、風が吹いて、空がまだ暗くて、明け方の海。私の行ったことがない海。先輩から聞いた、修学旅行で行った沖縄の海

Ａ いいなー、沖縄。私も行きたかった

Ｂ 早起きして海に向かって発声練習したんだって

Ａ いいなー、砂浜で発声練習。憧れる

Ｂ そういう思い出、私もほしかった

Ａ 本当だよ

Ｂ 大会でホテルに泊まったり

Ａ うん

Ｂ 劇を見に遠くまで行ったり

Ａ うん

Ｂ 合宿したり

Ａ 合宿

Ｂ もっといろんなことしたかった

Ａ したかった

Ｂ 私の思い出って、夏が暑かったこと。汗が頬を伝って、稽古の声が聞こえて、インパクトドライバーの音がして、ペンキの匂いがして

Ａ 大道具作ってたね。みんなでペンキ塗ったね

Ｂ 風が吹いて、床がひんやりして

Ａ 廊下で寝るのが気持ち良かった

Ｂ 私の劇は続いてる

Ａ うん

Ｂ 私の劇を今ここで上演してる

Ａ うん

Ｂ 私はこのことを一生覚えておこうと思う

Ａ うん

Ｂ 照明がまぶしくて、お客さんがみんな私を見てる。床にねそべっても、何をしても、誰にも私を止められない

Ａ 恥ずかしいことするなよ

Ｂ これは奇跡。私の奇跡。誰が何と言おうと私のための奇跡。予感はあった。私の予感。演劇部に入ったらきっといいことがある。演劇部に入って、今、私はここにいて、舞台に立ってる

Ａ 演劇部に入って良かったね

Ｂ 演劇部に入って良かった

Ａ ずっと一緒にいようね

 間。

Ａ ねえ、どうしたの？　返事してよ。聞こえてないの？　そっか、聞こえてないのか。私達、最初から一緒にいなかったんだ

 Ａ、退場。Ｃ、登場。

Ｃ 誰かいなかった？

Ｂ いないよ

Ｃ マツコは来ないよ

Ｂ 来ないのに待ってるのって不毛だね

Ｃ 来ないのに待ってるのが不条理だよ

Ｂ 台本書けた？

Ｃ 書いたけどボツにしたから書き直し

Ｂ いつできるの？

Ｃ 明日。明日またボツにして、また書いて、またボツにして、また書いて

Ｂ 何でボツにするの？

Ｃ 気に食わないから

Ｂ あ、そう

Ｃ また明日書いて持ってくる

Ｂ 明日？

Ｃ 何？

Ｂ 今、上演中で、上演中は今しかないから、明日は来ないよ

Ｃ じゃあ来ない明日を待ってるってこと？

Ｂ え？

Ｃ 何を待ってるの？

Ｂ 銀河鉄道

 音楽。

Ｃ こんな風にエンディングっぽい音楽かけたって、まだ幕は下ろせないから。まだ時間はあるし、まだ台本書けてないし、マツコは来ないし、明日は来ないし、銀河鉄道も来ないし、ラッコの毛皮だって牛乳だって来ないし、だからまだ幕は下ろさない

Ｂ まだ幕は下ろしたくない。でも幕が下りるのを待ってる。これって不条理？

Ｃ 俺は幕が下りるまでずっとここにいる

Ｂ 邪魔じゃない？

Ｃ そんなこと言ってると劇が終わっちゃうぞ

Ｂ まだ終わらない。終わらせない

 Ｋ、登場。

Ｋ あの、次の場面が始まるので退場してください

Ｃ ……

Ｋ あの、次の場面が始まるので退場してください

Ｃ ……

Ｋ 次の場面が始まるので退場してください

Ｃ 分かったよ

 Ｂ・Ｃ・Ｋ、退場。

【６】マツコを待ちながら

 Ｅ、登場。歌う。

 Ｈ、登場。

 二人でオンラインゲームをする。

Ｈ お待たせ

Ｅ 前の続きね

Ｈ 今日はクエストの最後のボス戦ね

Ｅ ボスの名前は超級武神アシュラロード。ＨＰバー五本ね

Ｈ 属性は？

Ｅ 地属性

Ｈ 地属性か。風属性と水属性が弱点だな

Ｅ そう、だからウェポンスキルはその属性で

Ｈ 了解。アシュラロードは基本的に一人タゲとって攻撃してくるから、俺がタゲとるからその隙に叩いて

Ｅ 了解。でもＨＰバー四分の一ごとに範囲攻撃来るよ

Ｈ 範囲攻撃のときは両方ともウェポンスキル発動して相殺（そうさい）する。ノックバックがあるから体勢だけ崩さないように注意して

Ｅ 了解。武器はどうするの？

Ｈ レンジが短いやつで。俺はＤＰＳが出せる片手剣でいく

Ｅ じゃあ私は強化済みのレイピアでいく。ラスゲ入ったら鎧が消滅するし武器も変わるよ

Ｈ まじか。ラスゲで武器変わんのか。めんどくせえな

Ｅ 鎧が消滅すると移動速度にバフかかるけど、防御力はデバフされるから

Ｈ 移動速度バフされるなら予備動作ちゃんと見なきゃいけないな

Ｅ 了解。ダメ受けるとスタン状態入るから。しかもスタンさせられると大技来るから要注意

Ｈ 了解。アシュラロードの武器、二刀流から野太刀に変わるんだって

Ｅ 了解。今回のボス戦の情報はこれぐらい？

Ｈ 調べて出てきたのはこれくらい。情報はベータ版のだから細部は変更されてるかもしれないから注意だけしといて

Ｅ 了解。ウェポンスキル変更したら教会集合で

 間。

Ｅ あのさ

Ｈ どうした？

Ｅ 何で学校来ないの？

Ｈ 急だな

Ｅ 何でだろうって思っただけ

Ｈ まあ、自宅警備員なので

Ｅ 自宅に守るものなんてないでしょ

Ｈ いや、あるだろ。自由

Ｅ アホか

Ｈ 勉強できるやつには分からんだろ

Ｅ お前だってバカではないだろ

Ｈ 勉強やったって意味ないんだよね

Ｅ 部活は？

Ｈ 別に俺、キャストやりたいわけじゃないし

Ｅ キャストやらなきゃいい

Ｈ 確かにそうだけど、そもそもやる気がない

Ｅ やる気なくてもいいよ

Ｈ それはよくないよ。迷惑だよ

Ｅ 迷惑だったら呼んでないよ

Ｈ 別に演劇好きじゃないし

Ｅ 知ってる

Ｈ 部活を頑張りたいわけでもないし

Ｅ 知ってる

Ｈ じゃあ何で？

Ｅ 何となく

Ｈ 何となくかい

Ｅ 授業は受けなくてもいいから部活だけ来てよ

Ｈ そう言われてもなあ

Ｅ 台本決まったよ

Ｈ へえ

Ｅ 明日見せてあげる

Ｈ 行くって言ってないんですけど

Ｅ もうＬＩＮＥで言ったよ

Ｈ もう言ったの？

Ｅ 明日、自宅警備員来るってさ、って

Ｈ おい、行くしかねえじゃねえかよ

Ｅ 来てくれるの？

Ｈ もうＬＩＮＥで言ったなら行くしかねえ

Ｅ じゃあ明日部活で

Ｈ うん、また明日

 Ｋ、登場。

Ｋ あの、次の場面が始まるので

Ｈ ああ、うん。退場する

Ｋ また明日ね

Ｈ うん、また明日

 Ｅ・Ｈ・Ｋ、退場。

【７】幕を下ろしに

 舞台の上。

 Ｂ、登場。

Ｂ 音楽が聞こえる。私は音楽を聞きながらここに立ってる。耳をすまして、音楽を聞いてる。音楽ってよそよそしいよね。二人称と同じ。私の大切な物は、よそよそしい。そよ風みたいに遠慮がち。舞台で風は吹かない。でも想像はできる。靴を脱ぐ。靴下も脱ぐ

 Ｂは靴と靴下を脱ぎ、臭いを嗅ぐ。

Ｂ 臭い。裸足になるのは、例えばここが海だったら。砂浜で、砂がさらさらで、ひんやりして、波の音が聞こえて、風が吹いて、空がまだ暗くて、明け方の海。私の行ったことがない海。先輩から聞いた、修学旅行で行った沖縄の海。早起きして海に向かって発声練習したんだって。そういう思い出、私もほしかった。大会でホテルに泊まったり、劇を見に遠くまで行ったり、合宿したり、もっといろんなことしたかった。私の思い出って、夏が暑かったこと。汗が頬を伝って、稽古の声が聞こえて、インパクトドライバーの音がして、ペンキの匂いがして、風が吹いて、床がひんやりして。私の劇は続いてる。私の劇を今ここで上演してる。私はこのことを一生覚えておこうと思う。照明がまぶしくて、お客さんがみんな私を見てる。床にねそべっても、何をしても、誰にも私を止められない。これは奇跡。私の奇跡。誰が何と言おうと私のための奇跡。予感はあった。私の予感。演劇部に入ったらきっといいことがある。演劇部に入って、今、私はここにいて、舞台に立ってる

 間。

Ｂ 私、本当は誰かと一緒だった気がする。その子はここにいて、願いごとについて話してた

 Ａ、登場。

Ａ 神様はいない。でもいないことを証明することは、ツチノコやネッシーがいないことを証明するのと同じくらい難しいんだよ

Ｂ いないことを証明するのは「悪魔の証明」って言うんだよ

Ａ 神様とか天使とか悪魔とかポケモン〔※22〕とか、そういう不確かな存在を否定することはできないかもしれないけど、でもそこにいることを確かめることもできなくて、結局、いてもいなくても同じじゃないって、そう思ってたんだけど、どうもそうではないらしいって気付いたのは最近のことで、いや、気付いたっていうか、ひょっとしたらっていう期待とか、憧れとか、そういうのを持つようになって、それはつまり、私に願いごとがあるっていうことなんだと思う

Ｂ 願いごと

Ａ 願いごとがあるときは歌えばいいって誰かに言われたことはないと思うけど、何となくそんな気がするから歌おう

 Ａ・Ｂは歌う。

Ａ 歌を歌うのは体にいいんだって。呼吸や発声は細胞を活性化させて新陳代謝を促進するし、運動するのと同じくらいカロリーを消費して、脳も活性化するし、感情が動かされる。そういうのをカタルシスって言う。カタルシスっていうのは魂の浄化作用のこと。魂が浄化される。歌うと心が揺れる。楽しいときには楽しい歌を歌って、悲しいときには悲しい歌を歌う。寂しいときには寂しい歌を歌って、心細いときには心細い歌を歌う

 Ａ・Ｂは歌う。

Ａ・Ｂ 谷川俊太郎の「二十億光年の孤独」を思い出す。私の万有引力は仲間を欲しがっていて、宇宙は膨らんでいくから不安で、私は孤独で、くしゃみをして、願いごとをする。私のこと覚えていてね。覚えていてねっていうのは他人の人生に介入するような尊大な願いで、本当は私が願うのはおこがましいと思ってる。かと言って、私のこと忘れてねっていう願いも難しい。他人の人生の一部を勝手に奪い取ってはいけないと思う。誰かの心に一生残っていたいっていうささやかで尊大な願いがあって、一方で、誰からも忘れられてしまえば自由になれるんじゃないかっていう妄想もあって、でも本当は怖くて、たまらなく不安で、孤独で、泣きそうになるけどでも涙なんか出なくて。忘れてしまうのが怖い。私にとって大切なことを、一生覚えておこうと思ったことを、あの光のまぶしさと、息をのむ美しい光景と、澄んだ空気の冷たさと、友情と、私を形作るすべてのものを、忘れたくない。でも忘れてしまうのかもしれない。そして忘れられる。みんなが私のこと忘れたら、いてもいないのと同じになるかも。忘れられてしまうのが怖い。かくれんぼをしていて自分だけ見つけてもらえないような。クリスマスに自分だけプレゼントをもらえないような。だから約束をする。ちゃんと見つけてねって。ちゃんとプレゼントをちょうだいねって。私のこと覚えていてね。でもそんな約束をしたことさえ忘れてしまう。誰かにそんな願いごとをされたような気がするけど、もうそんなことは覚えていない

Ｂ あなたはここにいるんだね

Ａ あなたってよそよそしいね

Ｂ そうだね

Ａ 願いごとは何？

Ｂ 幕を下ろしたくない

Ａ うん

Ｂ 終わってほしくない

Ａ うん

Ｂ でも、もうすぐ終わるんだよね

 Ｃ、登場。

Ｃ マツコから台本が届いたよ

Ａ そう

Ｂ 台本書けた？

Ｃ 書けたよ

Ｂ じゃあどっちを上演するか決めなきゃね

Ｃ うん

Ａ 幕を下ろしに行こう

Ｂ うん

 全員、登場。歌って踊る。

 全員、退場。

【８】マツコのいない世界

 Ａ・Ｂ・Ｃが大きな段ボール箱を持って登場。

Ｃ マツコから台本が届いた。段ボールいっぱいに入っていた。重かった

 段ボール箱を開ける。中に入っている台本をばらまく。

Ｃ 箱を開けると、台本がたくさん入っていた。ウィリアム・シェイクスピア「ハムレット」「オセロー」「マクベス」「リア王」

Ａ アントン・チェーホフ「かもめ」「ワーニャ伯父さん」「三人姉妹」「桜の園」

Ｂ ベルトルト・ブレヒト「三文オペラ」。ヘンリック・イプセン「人形の家」

Ｃ サミュエル・ベケット「ゴドーを待ちながら」。ウジェーヌ・イヨネスコ「授業」

 全員、登場。

Ｄ 野田秀樹「贋作（にせさく）・桜の森の満開の下」「半神」「キル」「赤鬼」

Ｅ 鴻上尚史「朝日のような夕日をつれて」「スナフキンの手紙」「トランス」「深呼吸する惑星」

Ｆ つかこうへい「熱海殺人事件」「蒲田行進曲」「幕末純情伝」

Ｇ 成井豊「銀河旋律」「広くてすてきな宇宙じゃないか」「ハックルベリーにさよならを」「水平線の歩き方」

Ｈ 別役実「マッチ売りの少女」「死体のある風景」「受付」「やってきたゴドー」

Ｉ 柴幸男「わが星」「わたしの星」「妥協点Ｐ」「あゆみ」

Ｊ 井上ひさし「父と暮せば」。ケラリーノ・サンドロヴィッチ「フローズン・ビーチ」。本谷有希子「幸せ最高ありがとうマジで！」

Ａ 清水邦夫「楽屋」。北村想「寿歌（ほぎうた）」。岡田利規「三月の５日間」

Ｂ 永井愛「こんにちは、母さん」。宮藤官九郎「メタルマクベス」。藤田貴大「cocoon」

Ｃ 上田誠「サマータイムマシン・ブルース」。後藤ひろひと「ダブリンの鐘つきカビ人間」

Ｄ 中屋敷法仁「変身」。三浦直之「いつだって窓際であたしたち」

Ｅ 小林賢太郎「TAKE OFF」。平田オリザ「東京ノート」

Ｆ こっから高校演劇だ。「夏芙蓉」「ホット・チョコレート」「七人の部長」〔※23〕

Ｇ 「俺たちの甲子園」「「チェンジ・ザ・ワールド」〔※24〕

Ｈ 「生徒総会」「修学旅行」「もしイタ」「ジンコちゃんの世界」〔※25〕

Ｉ 「桜井家の掟」「Time After Time」〔※26〕

Ｊ 「お葬式」「ヤマタノオロチ外伝」〔※27〕

Ａ 「ジャンバラヤ」「超正義の人」〔※28〕

Ｂ 「FLOAT」〔※29〕。「ケチャップ・オブ・ザ・デッド」〔※30〕。

Ｃ 「フートボールの時間」〔※31〕。「アルプススタンドのはしの方」〔※32〕

Ｄ 「Ｉｓ（あいす）」。「躾（しつけ）～モウと暮らした50日～」〔※33〕

Ｅ 「ワンダーランド」〔※34〕

Ｆ 「天の川のほとりを歩いた」〔※35〕

Ｇ 「トワイライト」〔※36〕

Ｈ 「ワールズエンド・ハッピーエンド」〔※37〕

Ｉ 「空森ビオラの憂鬱」〔※38〕

Ｊ 「エンドレスエイプリルフール」〔※39〕

全員 「幕を下ろす」〔※40〕

 全員、退場。

 風が吹いて、台本が飛んでいく。

【９】幕を下ろす

 舞台の上。

 全員、登場。

 ばらまいた台本を拾い集める。

 舞台装置を撤去する。

 誰もいなくなる。

 音楽が止まる。

Ｃ 緞帳ダウンします

 緞帳が下りる。

 終わり。

【参考】

サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』

ラーメンズ「銀河鉄道の夜のような夜」

〔※１〕 平田オリザは日本の劇作家。青年団主宰。現代口語演劇を提唱。

〔※２〕 「幕が上がらない」は静岡県立伊東高校が２０１６年全国高等学校演劇大会で上演した作品。

〔※３〕 「やぎさんゆうびん」は童謡。

〔※４〕 マツコ・デラックスはタレント。

〔※５〕 「嫌われ松子の一生」は映画。

〔※６〕 『山月記』は小説。高校の国語の教科書によく載っている。

〔※７〕 「マツコの知らない世界」はテレビ番組。

〔※８〕 サミュエル・ベケットはアイルランドの劇作家。不条理演劇を代表する作家の一人。

〔※９〕 別役実は日本の劇作家。ベケットの影響を受け、日本の不条理演劇を確立した第一人者。

〔※10〕 野田秀樹は日本の劇作家。夢の遊眠者主宰。野田地図（NODA MAP）設立。

〔※11〕 鴻上尚史は日本の劇作家。第三舞台主宰。

〔※12〕 スガシカオはシンガーソングライター。

〔※13〕 柴幸男は日本の劇作家。ままごと主宰。

〔※14〕 ケラリーノ・サンドロヴィッチは日本の劇作家。ナイロン100℃主宰。

〔※15〕 井上ひさしは日本の劇作家。

〔※16〕 今いくよ・くるよは芸人

〔※17〕 藤子不二雄はマンガ家

〔※18〕 松尾スズキは日本の劇作家。大人計画主宰。

〔※19〕 「事件は会議室で起きてるんじゃない。現場で起きてるんだ」というのが劇場版『踊る大走査線THE MOVIE湾岸署史上最悪の３日間』の台詞。

〔※20〕 『銀河鉄道の夜』は宮沢賢治の小説。未完らしい。

〔※21〕 「我思う、ゆえに我あり」というデカルトの言葉と、「泣かぬなら殺してしまえホトトギス」という織田信長の句と、「壁に耳あり障子に目あり」ということわざの融合。

〔※22〕 ポケモンはゲーム「ポケットモンスター」の略称。

〔※23〕 「夏芙蓉」「七人の部長」は越智勝の作。「ホット・チョコレート」は曽我部マコトの作。

〔※24〕 「俺たちの甲子園」「「チェンジ・ザ・ワールド」は石原哲也の作。

〔※25〕 「生徒総会」「修学旅行」「もしイタ」「ジンコちゃんの世界」は畑澤聖悟の作。

〔※26〕 「桜井家の掟」「Time After Time」は阿部順の作。

〔※27〕 「お葬式」「ヤマタノオロチ外伝」は亀尾佳宏の作。

〔※28〕 「ジャンバラヤ」「超正義の人」は大垣ヤスシの作。

〔※29〕 「FLOAT」はクラーク記念国際高等学校演劇部の作。2021年全国大会最優秀賞。

〔※30〕 「ケチャップ・オブ・ザ・デッド」は飛塚周・逗子開成高校演劇部の作。2019年全国大会最優秀賞。

〔※31〕 「フートボールの時間」は豊嶋了子と丸高演劇部の作。2018年全国大会最優秀賞。

〔※32〕 「アルプススタンドのはしの方」は籔博晶の作。2017年全国大会最優秀賞。

〔※33〕 「Ｉｓ（あいす）」「躾（しつけ）～モウと暮らした50日～」は岐阜農林高校演劇部の作。2016年と2007年全国大会最優秀賞。

〔※34〕 「ワンダーランド」は伊藤貴晴の作。2016年上演。

〔※35〕 「天の川のほとりを歩いた」は伊藤貴晴の作。2017年上演。

〔※36〕 「トワイライト」は伊藤貴晴の作。2018年上演。

〔※37〕 「ワールズエンド・ハッピーエンド」は伊藤貴晴の作。2019年上演。

〔※38〕 「空森ビオラの憂鬱」は伊藤貴晴の作。2020年上演。

〔※39〕 「エンドレスエイプリルフール」は伊藤貴晴の作。2021年上演。

〔※40〕 「幕を下ろす」は伊藤貴晴の作。2022年上演。